

1 国語に関する調査

【特長】

- 資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことができるかどうかをみる問題ができています。話し合いや、プレゼンテーションの学習機会を設け、工夫して発表する学習活動に取り組むことによって、「話す、聞く」力が身に付いてきていると考えられる。
- 具体と抽象等、情報と情報との関係について理解しているかどうかを見る問題ができています。論理的文章の読解等を通じて、言語能力及び思考力が、育まれつつあると考えられる。

【課題】

- 要約して書く問題、表現の効果を考えて描写する問題など、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうか見る問題の正答率が低い。生徒が書く機会をさらに設け、様々な技法を学ぶ中で、それを活用できるように指導する必要がある。
- 記述する問題について、いずれも無解答率が高い。指導法を工夫して、書くことへの抵抗を減らし、意欲が向上するように努めたい。

2 数学に関する調査

【特長】

- 二つのグラフにおけるy軸との交点について、事象に即して解釈することができるかどうかを見る問題については、よく理解できている。特に一次関数では、グラフを正しく理解し、問題を解くことができている。
- 文章問題については、しっかり読み取り問題場面を正しく理解できている。例えばデータから最頻値を求める問題について正しく読み取れている。

【課題】

- 式を変形したり、文字を使って表したりする基本的な問題についての正答率が低い。そのため、問題演習を繰り返し行っていきたい。
- 記述式の問題は、特に無解答率が高い。例えば文字を使った説明問題やデータの活用で、箱ひげ図から分布の特徴を読み取る問題である。授業で、答えだけではなく、過程を表現できる力を身に付けさせたい。

3 生徒質問紙の結果より

【特長】

- 普段（月曜日から金曜日）の授業時間以外の学習時間が比較的長いことが回答から見られる。平日については、自主的・計画的に学習する習慣が身に付いていると考えられる。
- 「人の役に立つ人間になりたい」、「自分と違う意見について考えるのが楽しい」と回答している生徒の割合が高く、社会貢献への意識や相互受容の精神が身に付いていると考えられる。

【課題】

- 学習時間について、平日の授業時間以外の学習時間は比較的長いですが、一方で学校が休みの日の学習時間は比較的短い。生徒が家庭でじっくりと学習に取り組めるよう学習課題を工夫し、引き続き家庭学習の意義を粘り強く指導していく。
- 学級での話し合いなどを生かして、学校生活をよりよくするために互いの意見のよさを生かして解決方法を決めるなど、今、努力すべきことに取り組む意識が比較的低い。生徒会が主催している全校集会の中で、日常行われている委員会活動などを紹介し、意識を高めていく。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- タブレットなどの ICT 機器の活用について、分からないことがあった時にすぐ調べることができる、楽しみながら学習を進めることができると回答している生徒の割合が高く、今後も生徒が活用する機会を増やしていく。
- 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫することで、今後も表現の活動を充実していく。
- 生徒の自己肯定感や自己有用感を高めていくために、学校生活や教育活動の様々な場面で、生徒・教職員ともに認め合える機会を増やしていく。
- 学校生活や家庭生活の中で生徒が抱える様々な困りごとや不安を、いつでも、誰にでも相談できる体制を構築していく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 毎日の朝食など、基本的な生活習慣は身に付いていますが、就寝時刻にばらつきがあるようです。今後も規則正しい生活リズムの確立に向けて、ご家庭でのご協力をお願いします。
- 生徒質問紙では地域や社会をよくしたいと回答している生徒もいます。中学生ボランティアの募集もありますので、ご家庭の後押しとサポートをお願いします。
- 心の成長には、学校・家庭・地域の連携が必要です。周りの大人が子どものよい行いや頑張りを認め、ほめ、元気づけるよう働きかけを引き続き、よろしくお願いします。